資源環境経済学特別演習 II 議事録（１月）

２０１１ 年 度 第 １ ２ 回

報告題名 黒龍江省における大豆生産についての研究 ～黒龍江省綏化市大豆生産を対象として～	
報告者 徐鵬淇	**日時** １月２６日 午後３時～
（**所属分野**） フィールド社会技術学	**場所** 第二講義室
座長 池田 真也	**議事録担当者**

出席者

長谷部、木谷、安江、小山田、米澤、米倉、冬木、高篠、伊藤、石井、スチン、八木、神浦、水木、宮里、池田、易思、威廉、王、金、滝田、タンボウニ、中村、山口、林、泉井、金、黄、今井、渋谷、畠山、室井、ナスンムンク、徐、趙、劉、王、池畑、井坂、菅野

報告要旨

中国経済の成長は、製造業、工業、都市部の経済だけではなく、農村部も重要な部分です。黒龍江省は大豆の有名な生産地として知りました。WTO 加入により大豆輸入国となった影響で、大豆価格が低迷し、農家経済は厳しい状況におかれている。 そして、農家収入は低く、その原因を分析し、農家収入を増加させる方法を研究。

質疑・応答

八木：「内陸部のダイズが使われない原因を分析する」とのことだが、実際には様々なところに原因があると思う。例えば流通面のインフラが整っていないことが挙げられる。中国では油を作る量が増えているが、そのほとんどは輸入大豆によって賄われている。この理由は、内陸部から輸送する国産大豆には輸送コストが掛かるため国産大豆の価格が高い事などがあるだろう。あなたは何を原因と考えているか。

徐：輸入ダイズは国産ダイズより高価だ。各企業はコストを考慮し輸入ダイズは多分いいと思う。各企業で使用するのは、非遺伝子組み換え大豆だ。遺伝子組み換えダイズの油の産量は高い。それにくらべ各企業はいろいろなダイズを使っている。

池田：国産ダイズは遺伝子組換えダイズか。

徐：非遺伝子組み換えダイズだ。

池田：生産しているダイズの種類が違うからコストが違うのか。八木さんの質問は「『インフラが整っていないから』といった理由以外にないのか」という質問だったと思う。要因としては遺伝子組換えであるということのほうが大きいのか。

徐：詳しくはわからない。

金:研究の背景に「中国国内のダイズ生産量は年間 100～200 万トン程度」とある。2008 年において 2,000 万トン程度を輸入している。輸入が急激に増えた理由は何か。

徐：国産ダイズの価格は輸入よりも低い。所得は 2001 年に比べたら 2004 年からダイズの輸入は高くなった。この増加の原因はこのころから中国の各企業が増加した。油産業などにおいて輸入大豆は良いと思う。詳しくはわからない。

渋谷：研究の目的に「農家収入を増加させる方法を研究する」とある。今後の研究予定ではダイズ生産の概要を調べた上で、生産効率を上げる手段について調べようとしている。「農家収入を増加させる方法」として、増えつつある輸入ダイズと国産ダイズが「同じフィールド」で競っていくための手段を研究するのか。全く別の用途を見つける、というような研究は行わないのか。

徐：この企業の対象はダイズ生産と思います。たぶん　国力のダイズ生産者は　たぶんこのげこつしゅうにゅうの　農産物を作って　ダイズの産業とか自分の収入は一番関係が良いと思うんです。そして農家収入の原因はダイズの産業とかのと関係しています。たぶん原因分析とかは　どうやって農家の収入を増加させるかということです。

室井：研究の目的は「農家収入を増加させる」ことだが、農業政策は現段階でどのような結果を出しているのか。例えば政策自体に問題があると仮定する。政策の問題点を改善することが出来れば、農家の収入が低いままで停滞していることの原因を分析したことになると同時に、農家収入を増加させる方法にもつながると考えるが、いかがか。

池田：「政策で農家収入が増加したか」は難しいテーマだ。もしやるのであればそこにこうか・したほうがいいし、やらないのであればサラっと流したほうが良いと思う。

徐：政策は大きな問題だ。多いため分析は難しいと思う。最初に所望するはせいさくしきとへいこうしきである。３番目はさっきの関連である。